

だいにこん屋さんの よもやま通信

ニュースレター

発行:株式会社中央フーズ 〒285-0844 千葉県佐倉市上志津原3番地 TEL 043-489-1287 FAX 043-461-7678
ホームページ <http://www.chuou-foods.com>



ご挨拶

10月11日開場した豊洲市場ですが、始まる前はどうなってしまうのかとても心配していましたが、色々な方の協力を得て何とか無事にスタートしたように思います。ご協力いただきました方に心より感謝いたします。

ところで台風被害でほぼ全ての大根が台風被害でほぼ全ての大根が飛ばされてしまった畑にほんのわずか残っていた小さな大根の新葉に「シンクイムシ」(別名:ハイマダラノメイガ)がついていました。

まさに**弱肉強食**です。

シンクイムシは8月下旬から10月に見られ20~30°Cでやや乾燥の条件で発生します。大根自体がまだ小さいときに大根の新芽部分を食べてしまいますので早めに対処をしないと大変被害の出る幼虫です。(金子)



見えづらいですが ここにいます(新芽を食べます)

シンクイムシの被害

営業さんのある素敵な日

こんにちは。営業担当の矢野です！

早いもので入社から3カ月が経ちました。

お客様とお会いする機会も増え、「ニュースレター読んでよ」「おもしろいよ」と言ってくれ、とても嬉しいです。

少しでも楽しんでもらえたらという気持ちが強くなり、今回はほぼ完成していた原稿を白紙にして書き直しました！自分でハードルを上げてしまいましたが…(笑)

この袋何だかわかりますか？

千葉県のお米を入れる袋なんです！我が家も農家ですので、毎年このチーバくんの袋に収穫したお米を入れて出荷しています。米袋は丈夫なので、バッグやブックカバーなどにリメイクされているんですよ！米袋をバッグにするなんて、新しい発見ですね。

私も新しい発見ができるように日々勉強です！



矢野です



千葉県産こしひかり30kg袋

大根8月9月の育成状況

各地で洪水、台風、地震と災害が多い中 下北地域では大きな被害もなく例年に無い程、順調な出来で毎日の大変な収穫作業を楽しみながら進めています。
千葉に関しては秋作のは種がギリギリのタイミングで雨が降り、何とか作付けが出来ています。
昨年冬から春にかけて、台風、日照不足、低温でかなりのダメージを受けました。
今期はすべて順調に収穫出来ることを祈るばかりです。

日本ベジタ 猪狩



台風24号の被害状況(千葉県:弊社圃場)

弊社圃場の10月1日に直撃した台風24号の被害ですが、9月16日に播種した大根が発芽して間もないころに直撃だったため、新芽が全て飛ばされて大根がなくなってしまった畑が数枚ありました。昨年10月の台風は大雨の被害でしたが今年の24号は風がとても強く、一部塩害も発生しています。(昨年よりは被害が少ないようですが風が強く内陸でも塩害が発生しました)

また今回の台風で全国的に被害が大きかった大根の産地は鹿児島県と宮崎県のように。九州南部の産地は10月から20までの播種がとても重要で今回の台風はピンポイントでこの時期にあたってしまった。九州南部地域の大根は主に加工メーカーが契約しているところが多いと聞いたことがあります。色々な方のお話を聞いていると12月、1月の大根がかなり品薄になると思われます。



10月2日撮影 台風でなぎ倒された大木

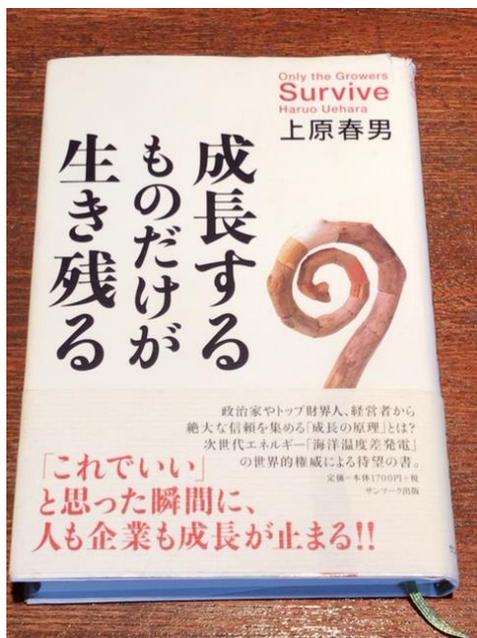


9月16日播種をした圃場
畑1枚 風ですべて飛ばされてしまいました



ほんのわずか生き残った大根

おすすめの本



強くおすすめなので大きな写真になりました

今回おすすめする本はこちらの「成長するものだけが生き残る」
著者:上原春男さん になります。

人間以外の動物は日々生きていく中で何世代にもわたり同じような暮らしをしています、どういうわけか人間だけはどうしても今より良くなりたいという欲求というか、自然とそう思う思考し行動してしまいます。またこの欲求に満足し、これ以上の成長はいらないとしてしまったとき、特に企業の場合はその成長が止まり、やがて衰退に向かっていきます。

また企業のあり方というか、市場に受け入れられるキーワードとして「心地よさ」を上げられており、商品やサービスはこの「心地よさ」の提供が企業において一番求められ「心地よさ=付加価値」になっています。

正直なところ私は果たして中央フーズもお客様に商品を通じて「心地よさ」を提供できているか深く考えさせられました。日々わずかな成長を自分自身と会社がしていくことの大切さを感じ取ってもらいたく、できれば弊社社員は一度読んでほしい本です。私も繰り返し読んでいますが、お取引先様に心地よさを提供できる企業でいられるよう少しずつ成長していきたいと思っています。

今月の一句

夏が過ぎ
空が過ぎ
風あざわし
みし雲

細川 浩一

製造の現場から

10月に入ると工場の食堂にある自動販売機の珈琲が全てホットに替っていた

Σ(・_・)ノエツ

季節の変わり目を自販機の冷・温で感じる事はあると思うが、今年はまだ、抵抗があるだろうが・・・(TT)グスン せめて冷たい珈琲を少しでも残しておいてもらえれば良かったのだが、全てホットで・・・

まだ、時折暑さを感じる中でも、少し出てきたお腹を気にして、ホットのブラック珈琲を「アツ!アツ!」と言いながら飲む今日この頃・・・

でも、今年もあっ!と言う間に冬になっていくんだろうなあ～

工場長 金沢 信行

編集後記

まだ10月なのに寒い!と思うのは私だけでしょうか?
既にインフルも流行り始めました。体調管理気を付けましょう
(> Å <:)

okahashi

こんにちは。
つまもの担当の山本です。!(^^)!

だんだん秋が深まってくる10月♪朝夕はちょっと肌寒く感じますが、色彩あふれる紅葉の美しい季節となりました。昼間はすごしやすいので、屋外のレジャーやお出かけする機会も増えるかと思えますが、そんな時にみなさまがチェックしているのが天気予報ではないでしょうか。(?!?) 近年では当たり前になる「異常気象」。ゲリラ豪雨、記録的猛暑、台風、大雨...。夏から毎日のように話題が上がっています。そもそも異常気象とは(・・?)ちゃんと定義があるそうです。

簡潔にまとめますと、「ある場所で30年に一回程度しか起こらない、まれな現象」です。

ただ最近では、そんな異常気象が30年どころか1年のうちに何度も起こる。

異常気象はいまや常態化しているようにも感じます。(;> <)

小菊では8月上旬から9月下旬かけて高温障害による生育状況が悪化し生産量が減ってしまいました。

記録的な猛暑と夜温も下がらない為、ハウス内の温度管理が大変厳しいとの事でした。

このような状況も、異常気象により毎年、常態化してしまうかも知れません。

しかし生産者の方々は一年を通して、安定した出荷を維持するために、栽培の中で様々な工夫をされています。当然のように市場などに入荷されている「つまもの」ですが、

その様なご苦労を思うと、感謝の想いでいっぱいになります。



お刺身の盛り合わせやお寿司のパックに小菊があると急に華やかになりますね

スタッフ紹介

配送部の山田です。

豊洲市場も始まり、様々な納品形態がありますが、工場出荷の品質を安全、確実に配達することを心がけています。

(*´ω`*)♡

お知らせ&トピックス!!

いよいよ築地が新市場の豊洲へ移転いたしました。今まで暗黙の了解となっていた色々な部分がきちんと整備され未来型の新しい市場ということを目指している様に感じます。

2020年にはオリンピックもあり、次のビッグイベントが待っています。過ぎ去った後どうなるのか少し心配です。